

国内製造ワインの概況

(平成29年度調査分)

果実酒の製造免許を有し、ぶどう（濃縮果汁を含む。以下このページにおいて同じ。）を原料とした果実酒を製造している製造業者を対象にアンケート調査（果実酒製造業者実態調査）を行い、その集計結果を取りまとめた。

○ 調査対象期間及び集計単位

(1) 売上高等の経営内容

法人については平成30年1月1日直前終了事業年度分（1事業年度が6か月の場合は2事業年度）、個人については平成29年分とし、事業者ごとのデータを基に集計。

(2) 製成・移出数量、原料受入数量等の生産・出荷の内容

平成29会計年度（平成29年4月1日～平成30年3月31日）とし、製造場ごとのデータを基に集計。

○ 各表の注意事項

(1) 本資料では、酒税法上の果実酒を「果実酒」、果実酒のうちぶどうを原料としたものを「ワイン」と表記している。

(2) 各表の計数は、単位未満を四捨五入しているため、表の内容と計又は合計が一致しない場合がある。

(3) 各表の年数は、特に記載のない場合、会計年度を示している。

(4) 各表の「×」は、情報を保護する観点から数値を秘匿したものである。

平成31年2月

国税庁課税部酒税課

果実酒製造業者実態調査の概要

		平成27年度調査分	平成28年度調査分	平成29年度調査分
調査目的		個々のワイン製造業者の経営状況、ワインの生産実態、ワインの原料であるぶどうの調達状況等、ワインの製造全般について状況を把握し、これらのデータを集計・分析を行うことによって、国税庁の行う各種の施策の基礎資料とするため		
調査対象者		ワインの製造業者 (<u>試験製造免許者を除く。</u>)		
調査方法		調査表を調査対象者に配布し、調査対象者が作成した調査表を調査対象者の住所又は本店の所在地の所轄税務署において回収（アンケート調査）		
調査項目		<ul style="list-style-type: none"> ○経営状況 ○経営方針等のアンケート ●<u>ワインの受払状況（製造場別）</u> ●<u>ワインの製造状況・原料使用状況（製造場別）</u> ●<u>原料の受入状況（製造場別）</u> ※ <u>受払・製造状況に日本ワインの項目を追加</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ○経営状況 ○経営方針等のアンケート ●<u>ワインの受払状況（製造場別）</u> ●<u>ワインの製造状況・原料使用状況（製造場別）</u> ●<u>原料の受入状況（製造場別）</u> ※ <u>製成数量の集計方法を変更</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ○経営状況 ○経営方針等のアンケート ●<u>ワインの受払状況（製造場別）</u> ●<u>ワインの製造状況・原料使用状況（製造場別）</u> ●<u>原料の受入状況（製造場別）</u>
調査対象期間		<ul style="list-style-type: none"> ○の調査項目 法人：平成28年 <u>1月1日</u>直前終了事業年度 個人：平成27年 ●<u>の調査項目</u> <u>平成27会計年度</u> ※ ●の調査項目について、事業年度分又は年分から<u>会計年度分に変更</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ○の調査項目 法人：平成29年 1月1日直前終了事業年度 個人：平成28年 ●の調査項目 平成28会計年度 	<ul style="list-style-type: none"> ○の調査項目 法人：平成30年 1月1日直前終了事業年度 個人：平成29年 ●の調査項目 平成29会計年度
調査結果	調査対象者数	261者（280場） (平成28年3月31日現在)	267者（283場） (平成29年3月31日現在)	285者（303場） (平成30年3月31日現在)
	回答者数	247者（266場）	231者（244場）	247者（263場）
	回答率	94.6%	86.5%	86.7%

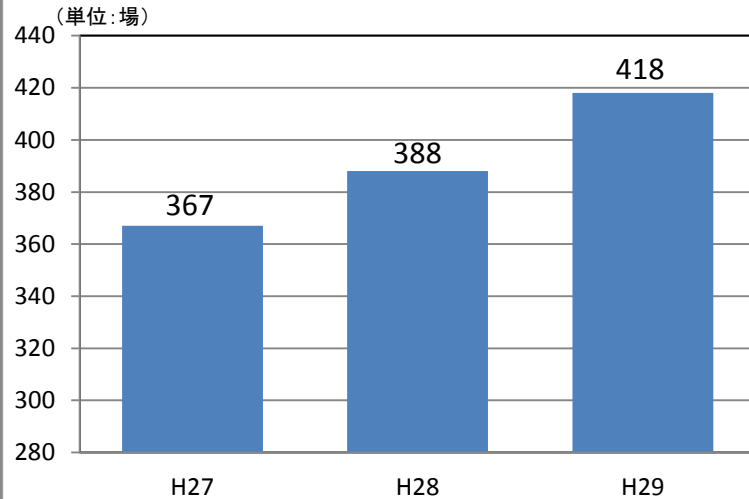
(注) 下線部は、前年度調査からの変更点を示している。

国内製造ワインの概況 目次

1	製造業者の概況	
○	果実酒製造場数の推移	1
○	国内のワイナリー数	1
○	ワイン製造業の業界構造	2
○	国内製造ワインの生産量（生産規模別）	3
○	ワイン製造業の経営状況	4
2	出荷・生産の概況	
○	果実酒の出荷量（課税移出数量）の推移	5
○	日本ワインの出荷量	6
○	果実酒の生産量（製成数量）の推移	7
○	国内製造ワインの使用原料及び生産されたワインの内訳	8
○	日本ワインの種類別生産量及び上位6道県の構成比	9
3	原料用国産生ぶどうの概況	
○	ワイン原料用国産生ぶどう（赤白上位10品種）の受入数量	10
○	原料用ぶどう品種（白上位10種）の主要産地（ぶどう産地別受入数量）	11
○	原料用ぶどう品種（赤上位10種）の主要産地（ぶどう産地別受入数量）	12
○	主要ぶどう産地（上位6道県）における品種別数量	13
○	都道府県別ワイン原料用国産生ぶどうの受入状況	16
○	ワイン原料用国産生ぶどうの受入形態別受入数量構成比	17
	(参考)	
1	果実酒の都道府県ランキング（上位10位）	18
2	果実酒製造業者実態調査の都道府県別対象者（場）及び回答者（場）数	19
3	ワインの都道府県別生産量・出荷量	20
4	都道府県別のぶどう品種別受入数量の明細	21
5	ぶどう産地別 製造場所在地別 原料ぶどう受入量（国税局管轄区域別）	22
6	ぶどう品種別受入形態の明細及び主要産地	23
7	ワイン製造業者の製成数量規模別経営状況及び製成移出状況	24

1 製造業者の概況

○ 果実酒製造場数の推移



(注) 各年度末(3月31日)現在における試験製造免許場を除いた果実酒製造場数である(国税庁統計年報書による。)

(参考) 各年(1月~12月)における新規免許付与件数

(単位:件)

免許区分	平成27年	平成28年	平成29年
新規	34 (8)	31 (7)	40 (10)
法人成り等	2 (0)	3 (0)	0 (0)
移転	3 (2)	0 (0)	2 (0)
合計	39 (10)	34 (7)	42 (10)

(注)1 国税庁ホームページに掲載されている酒類等製造免許の新規取得者名等一覧(<http://www.nta.go.jp/taxes/sake/menkyo/shinki/seizo/02/zenkoku.htm>)による。

2 括弧書きは付与した免許のうち試験免許の件数である。

国内のワイナリー数 303場

平成30年3月31日現在における果実酒製造場418場のうち、ワインを製造しており、平成29年度においてワインの生産又は出荷の実績がある製造場の数である。

都道府県別に見ると、上位5道県で全体の約6割を占めている。

(都道府県別のワイナリー数)

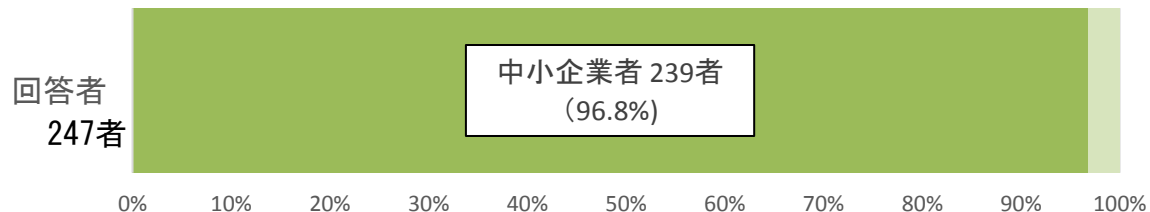
順位	都道府県	ワイナリー数	順位	都道府県	ワイナリー数
1	山 梨	81	23	神 奈 川	3
2	北 海 道	35	23	鳥 取	3
2	長 野	35	23	島 根	3
4	山 形	14	28	宮 城	2
5	新 潟	10	28	富 山	2
6	岩 手	9	28	石 川	2
7	栃 木	7	28	滋 賀	2
7	大 阪	7	28	京 都	2
7	岡 山	7	28	熊 本	2
10	広 島	6	34	福 井	1
11	福 島	5	34	三 重	1
11	茨 城	5	34	和 歌 山	1
11	静 岡	5	34	山 口	1
11	愛 知	5	34	徳 島	1
11	大 分	5	34	香 川	1
16	秋 田	4	34	愛 媛	1
16	群 馬	4	34	高 知	1
16	千 葉	4	34	福 岡	1
16	東 京	4	34	長 崎	1
16	岐 阜	4	34	鹿 児 島	1
16	兵 庫	4	34	沖 縄	1
16	宮 崎	4	46	奈 良	0
23	青 森	3	46	佐 賀	0
23	埼 玉	3		全 国 計	303

(注) 果実酒製造業者実態調査による。詳細は参考2を参照。

○ ワイン製造業の業界構造

実態調査に回答のあったワイン製造業者の96.8%が中小企業者であり、専門割合（総売上高に占めるワインの売上高の比率）100%の者は全て生産量300kl未満の者である。

○ 中小企業割合

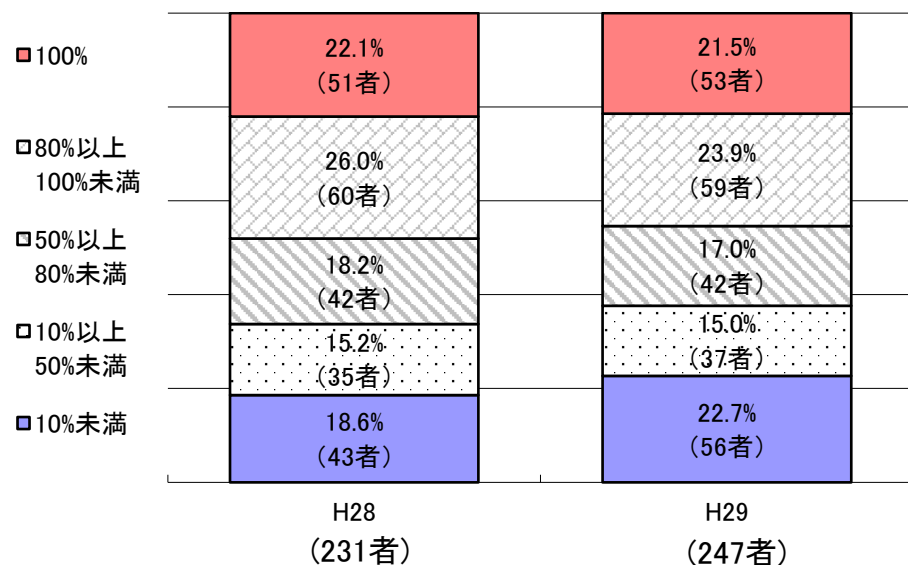


(注) 中小企業者とは、資本金3億円以下の法人並びに従業員300人以下の法人及び個人をいう。
(中小企業基本法第2条第1項第1号)

○ 専門割合別構成比

(専門割合)

数値：構成比
括弧書：製造業者数



(注) 法人については各直前終了事業年度分、個人については各年分を基に集計している。

○ 専門割合別生産規模別業者数

単位：者

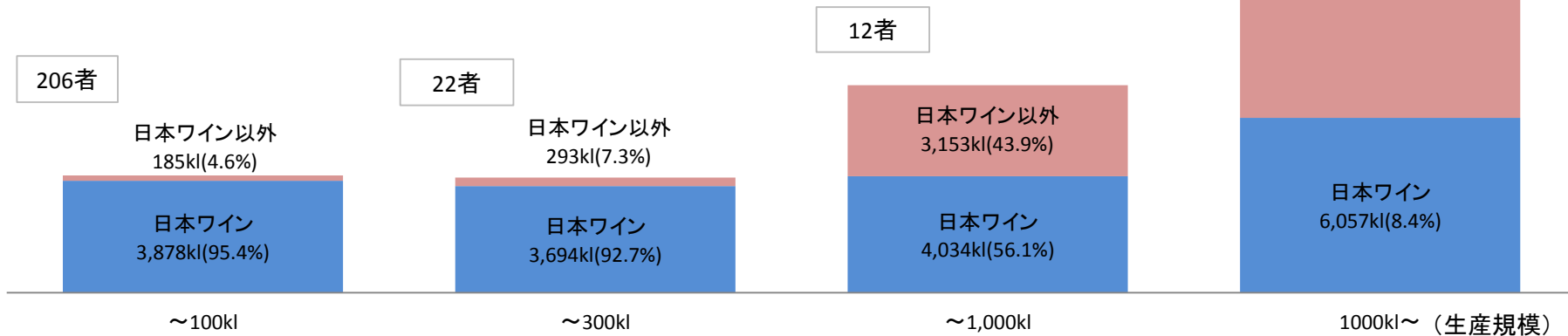
生産量	専門割合					合計
	100%	80%以上100%未満	50%以上80%未満	10%以上50%未満	10%未満	
100kl未満	52	41	34	29	50	206
100kl以上300kl未満	1	10	6	4	1	22
300kl以上1,000kl未満		7		2	3	12
1,000kl以上		1	2	2	2	7
合計	53	59	42	37	56	247

○ 国内製造ワインの生産量（生産規模別）

（単位：者、kl）

生産規模	～100kl	～300kl	～1,000kl	1,000kl～	総数
企業数 (構成比)	206 (83.4%)	22 (8.9%)	12 (4.9%)	7 (2.8%)	247 (100.0%)
生産量 (構成比)	4,063 (4.7%)	3,987 (4.6%)	7,187 (8.2%)	72,088 (82.6%)	87,325 (100.0%)
内 日本ワイン (構成比)	3,878 (22.0%)	3,694 (20.9%)	4,034 (22.8%)	6,057 (34.3%)	17,663 (100.0%)

■ 日本ワイン以外
■ 日本ワイン



○ ワイン製造業の経営状況

○ ワイン製造業の売上高等の推移（注1）

原則として、製造者以外の者又は他の酒類の製造者が新たに果実酒の製造免許を受ける場合には、3年間は、免許に期限が付される（期限付免許者）。

期限付免許者及び期限付免許者以外の経営状況（1者当たりの平均）の推移は次のとおり。

（単位：者、百万円）

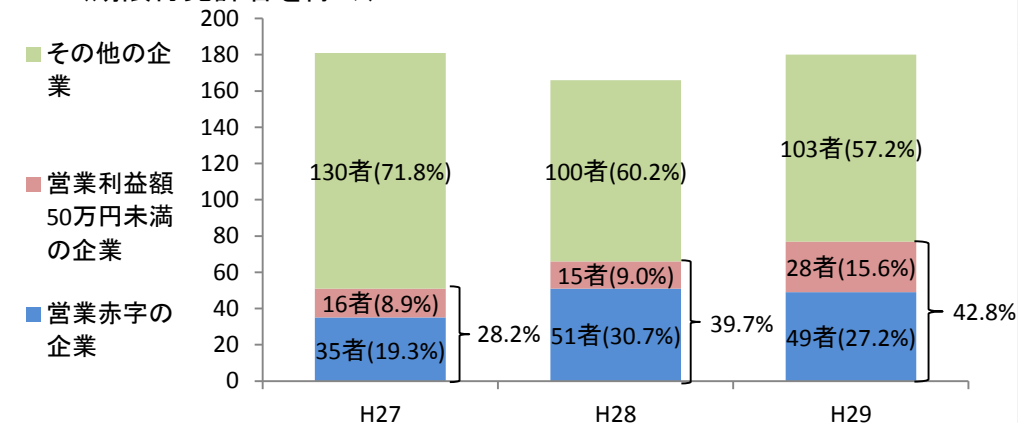
調査年度	企業数	売上高	売上総利益	営業利益	営業利益率
期限付免許者	H28	(1,220)	(483)	(△33)	
		21	8	△1	△2.7%
期限付を 除く	H28	(1,288)	(360)	(△74)	
		21	6	△1	△5.7%
期限付を 除く	H28	(26,987)	(11,446)	(1,687)	
		163	69	10	6.3%
期限付を 除く	H29	(24,110)	(10,964)	(1,367)	
		134	61	8	5.7%
H28 合計	225	(28,207)	(11,929)	(1,654)	5.9%
H29 合計	241	(25,398)	(11,324)	(1,293)	5.1%

（注）1 経営状況は、調査対象期間における製成数量の上位5者及び資本関係のある販売担当会社1者の計6者を除き、ワイン製造業に係る計数を集計している（以下このページにおいて同じ。）。

2 括弧書は回答者合計である。

3 法人については各直前終了事業年度分、個人については各年分を基に集計している。

○ ワイン製造業の営業赤字及び営業利益額50万円未満の企業数の推移（期限付免許者を除く）

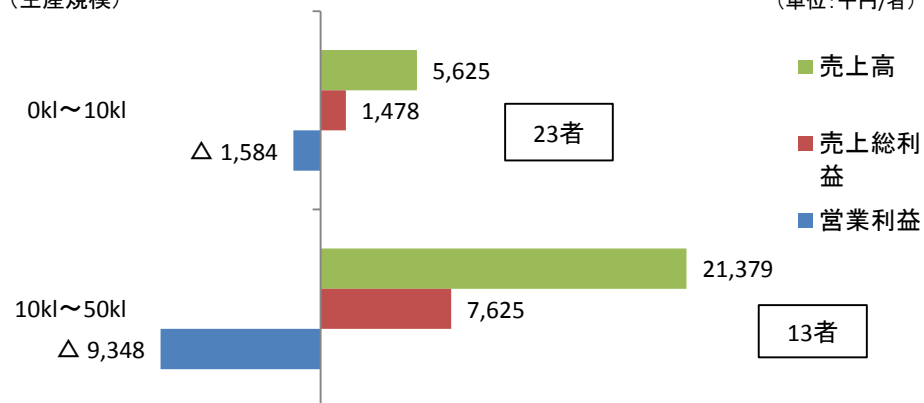


（注）法人については各直前終了事業年度分、個人については各年分を基に集計している。

○ 期限付免許者のうち免許付与3年目までの者の経営状況（1者当たりの平均）

（生産規模）

（単位：千円/者）

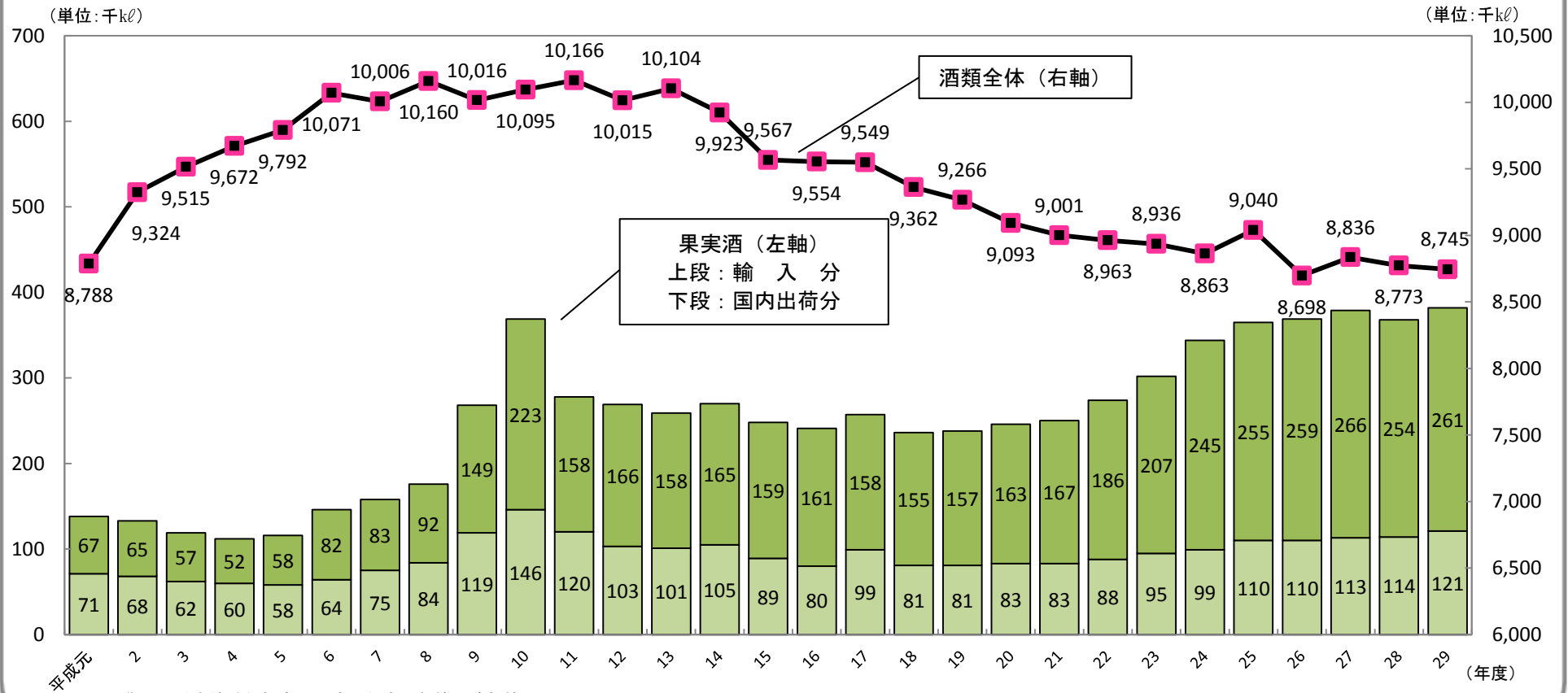


2 出荷・生産の概況

○ 果実酒の出荷量（課税移出数量）の推移

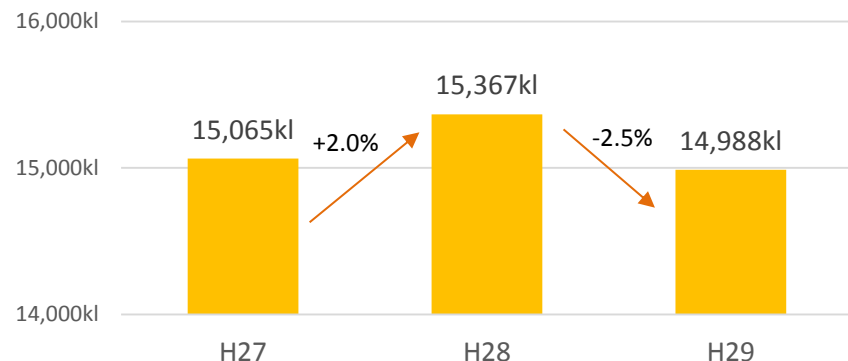
酒類全体の課税移出数量が減少傾向のなか、果実酒は増加傾向にある。

果実酒の課税移出数量のうち、輸入分は前年比約2.8%の増加、国内出荷分は前年比約6.1%の増加。



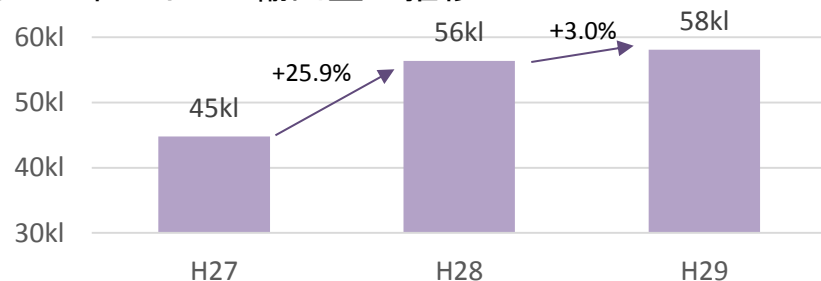
○ 日本ワインの出荷量

○ 日本ワインの出荷量(課税移出数量)の推移



- (注) 1 出荷量の計数は、果実酒製造業者実態調査によるものであり、各年度によって必ずしも回答者が同一ではないため、経年比較にあたっては参考値であることに留意する。
- 2 H27は、法人については平成28年1月1日直前終了事業年度分、個人については平成27年分を集計している。H28及びH29は、法人・個人とも会計年度を基に集計している。
- 3 H28は、一部製造業者から修正の申出があったため、昨年度の「国内製造ワインの概況」に記載した計数から見直している。

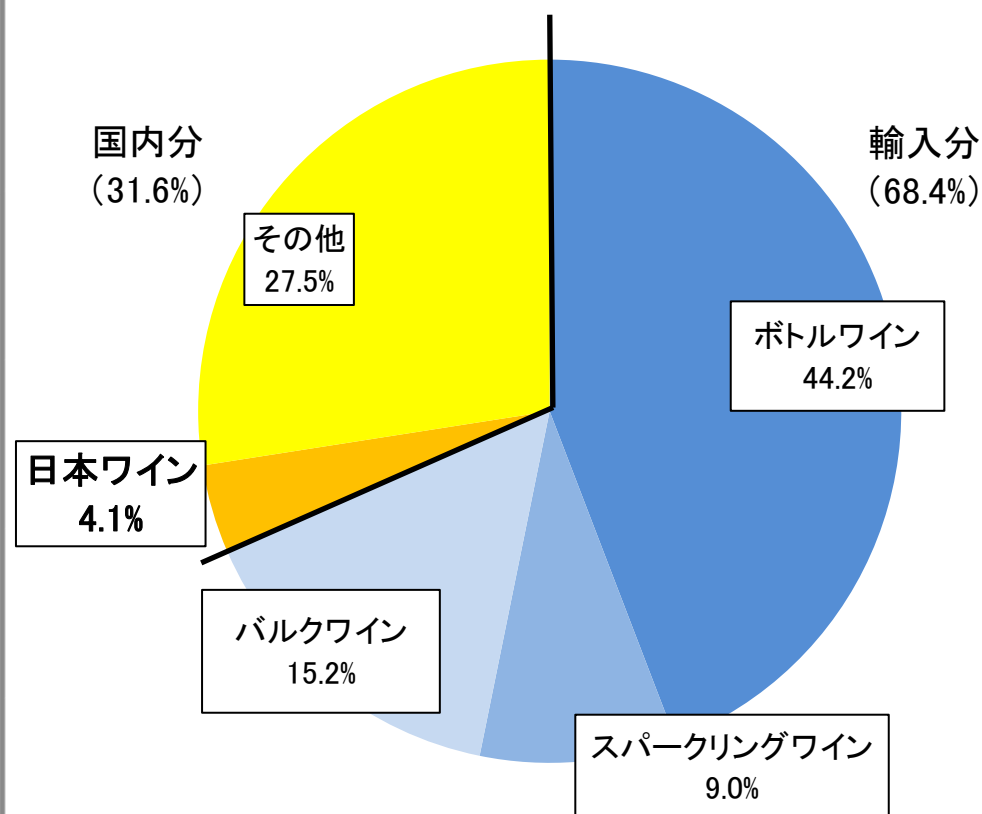
○ 日本ワインの輸出量の推移



- (注) 1 輸出量の計数は、果実酒製造業者実態調査によるものであり、各年度によって必ずしも回答者が同一ではないため、経年比較にあたっては参考値であることに留意する。
- 2 法人については各直前終了事業年度分、個人については各年分を基に集計している。

○ 国内市場におけるワインの流通量の構成比

(平成29年度推計値)

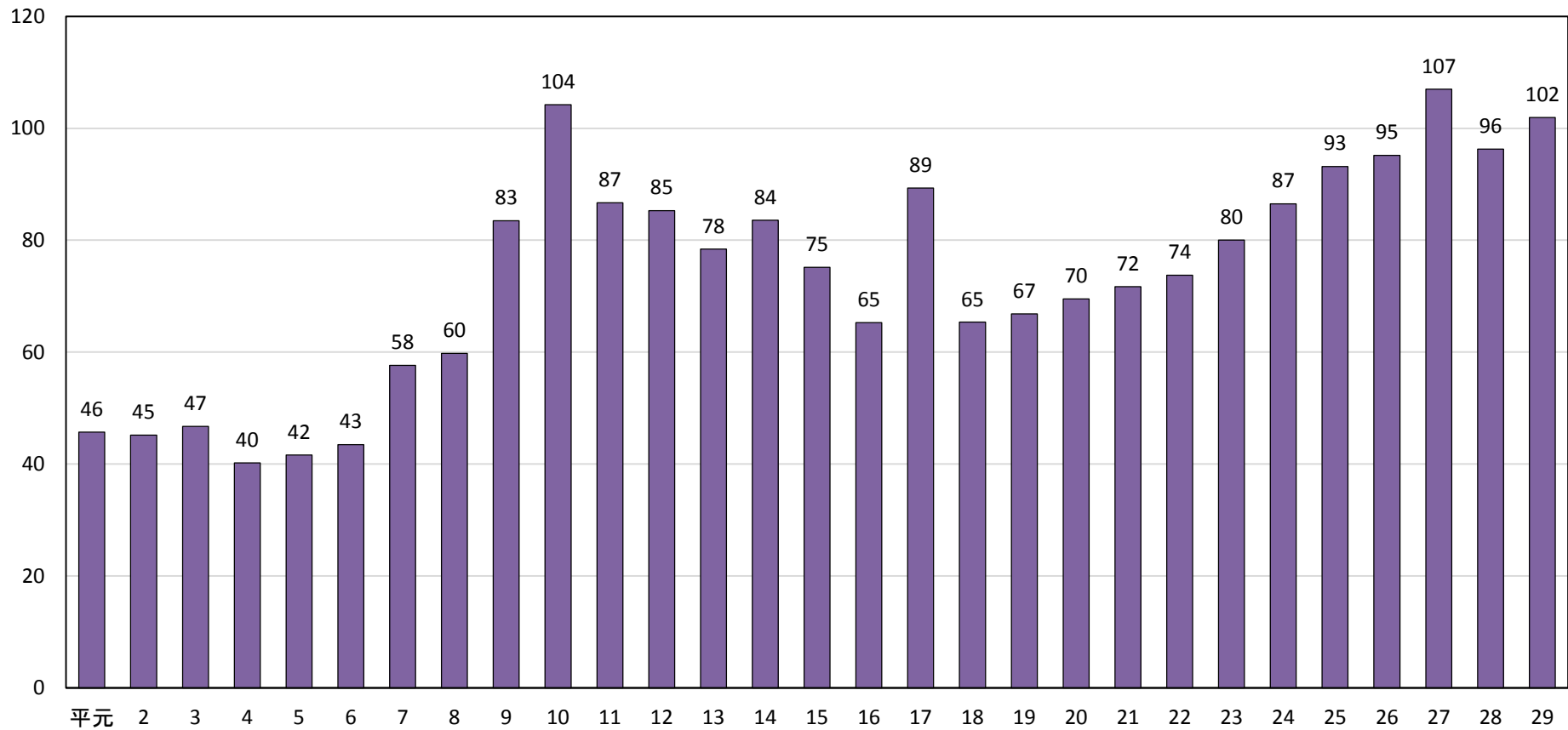


- (注) 1 国内分・輸入分の構成比は、国税庁統計年報書における果実酒の課税数量比である。
- 2 輸入分の内訳は、財務省貿易統計の輸入数量比である。
- 3 国内分の構成割合は、果実酒実態調査を基に推計している。

○ 果実酒の生産量(製成数量)の推移

果実酒の生産量は長期的には増加傾向にあり、平成27年度には平成元年以降で最大(107kl)となった。
平成29年度は前年度より増加し、平成10年及び平成27年に次ぐ高水準であった。

(単位:千kl)

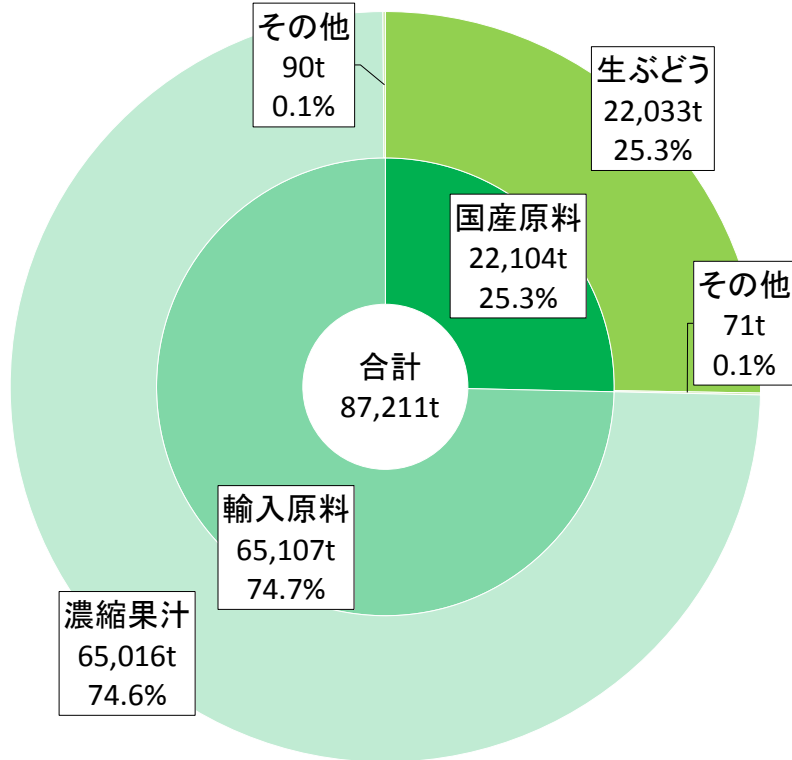


(出典) 国税庁統計年報書(平成29年度の数値は速報値)

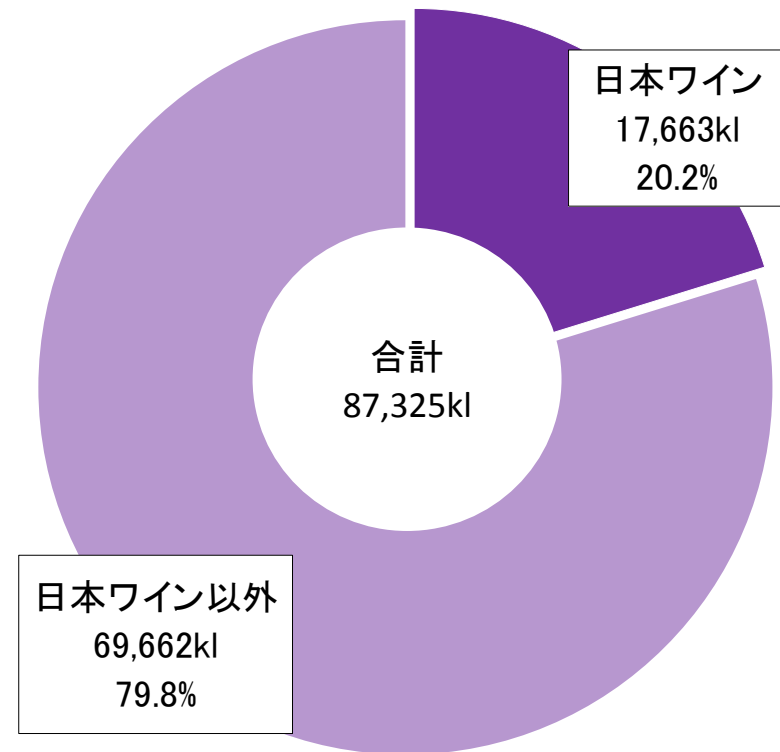
○ 国内製造ワインの使用原料及び生産されたワインの内訳

国内製造ワインの生産量構成比をみると、日本ワインは20.2%である。

○ 国内製造ワインの使用原料構成比



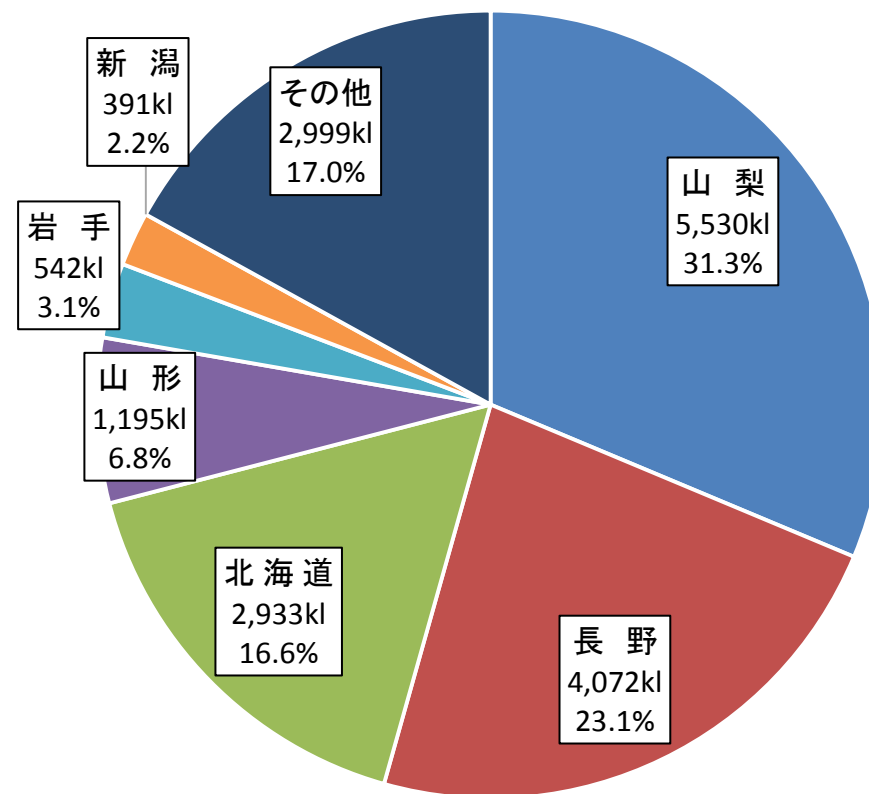
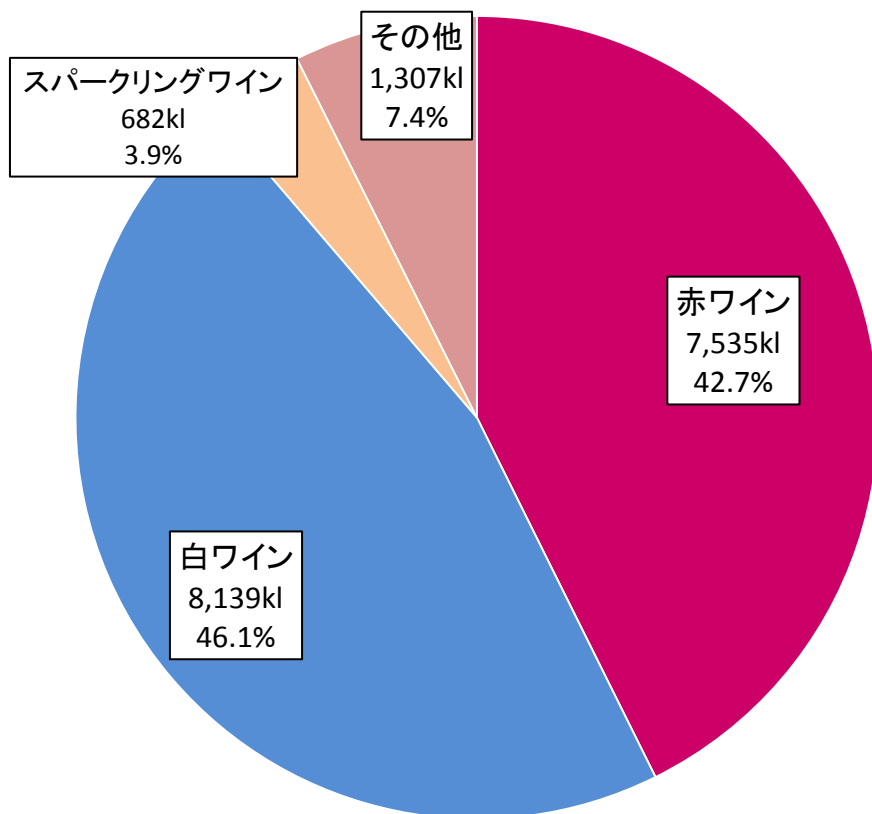
○ 国内製造ワインの生産量構成比(日本ワイン)



(注) 果実酒製造業者実態調査に回答のあった製造場のワインの生産量の集計値であり、7ページの生産量とは一致しない。

○ 日本ワインの種類別生産量及び上位6道県の構成比

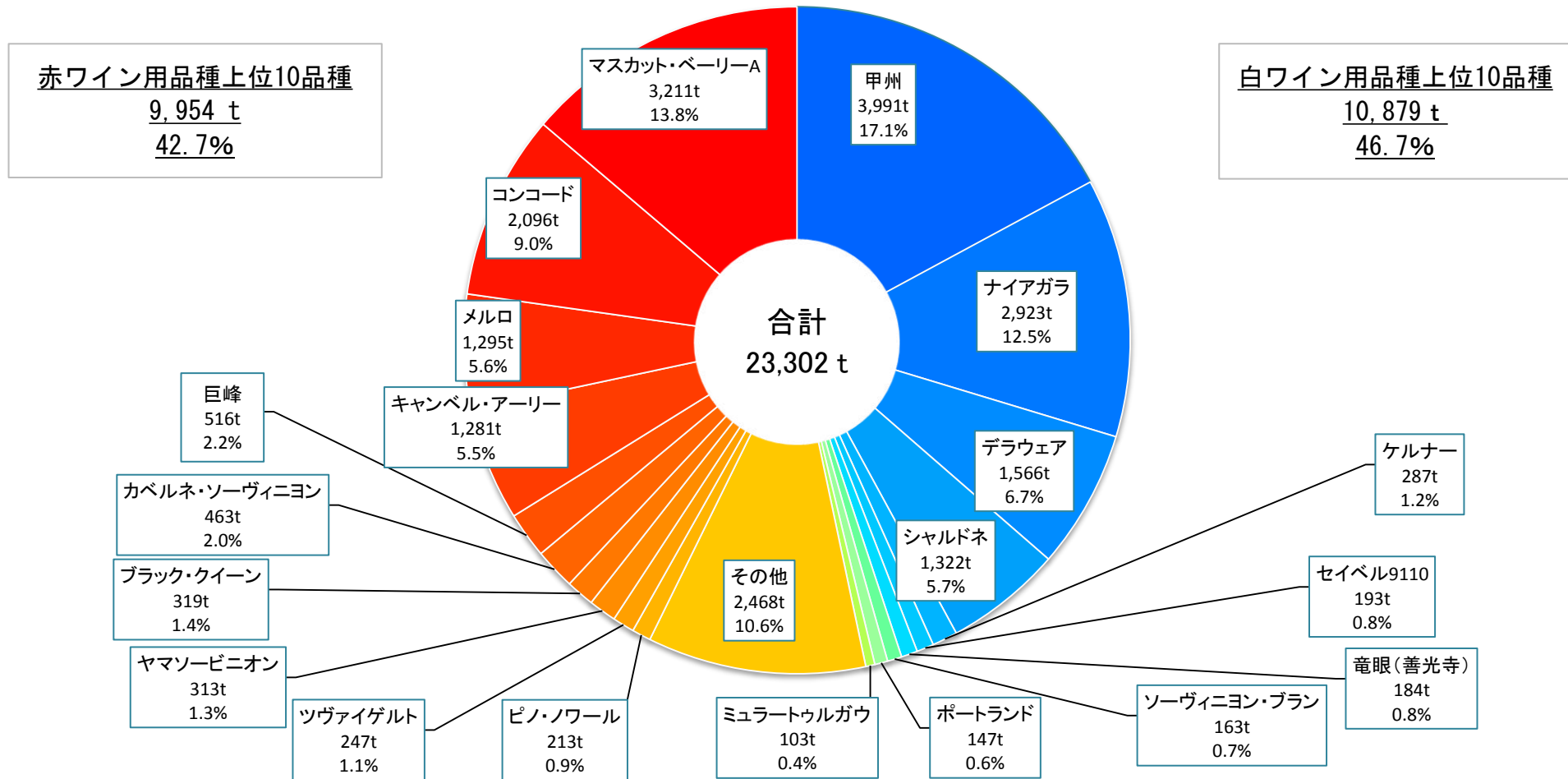
日本ワイン生産量 17,663kl



(注) 果実酒製造業者実態調査による。詳細は参考3を参照。

3 原料用国産生ぶどうの概況

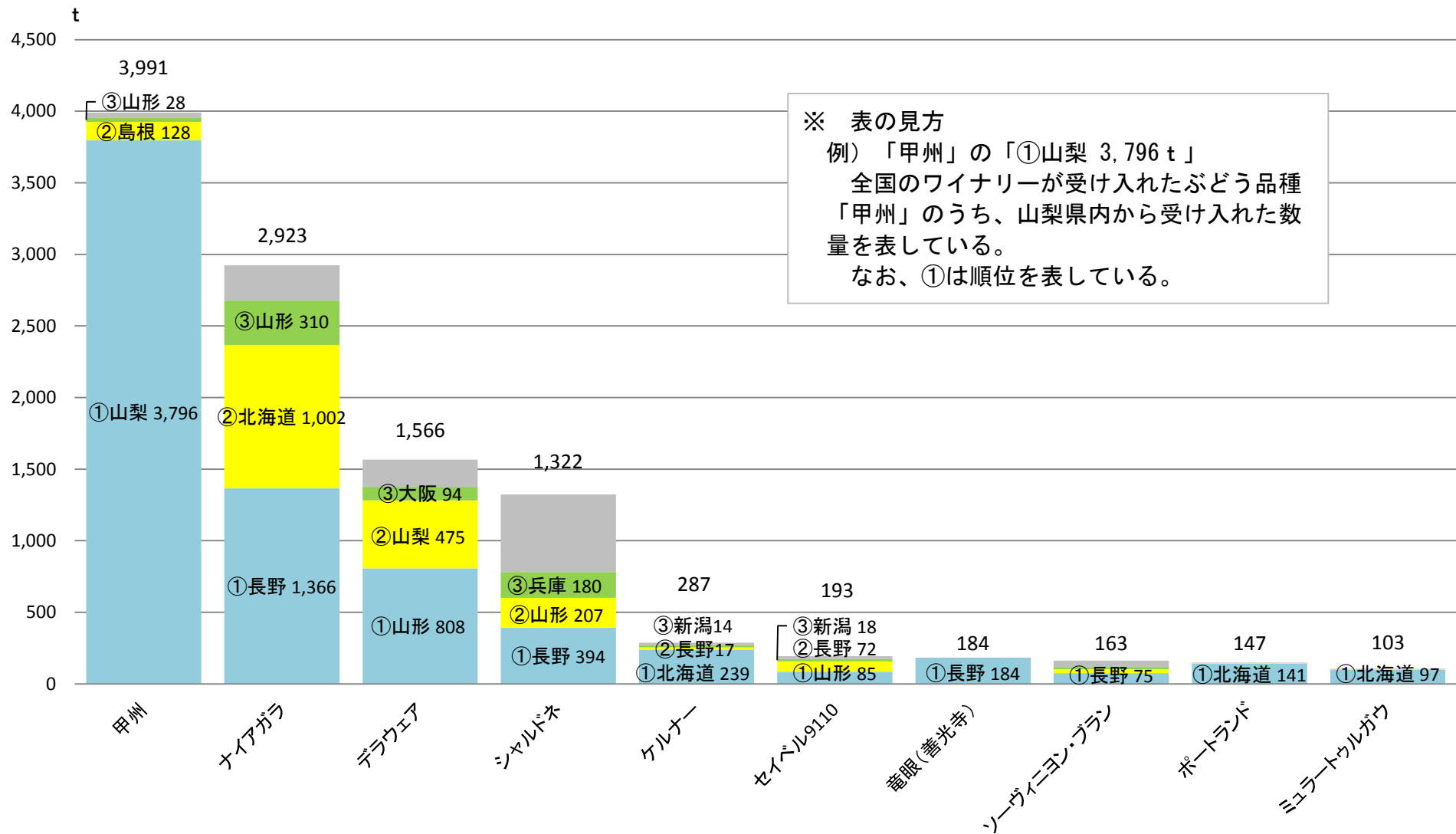
○ ワイン原料用国産生ぶどう(赤白上位10品種)の受入数量



(注) ワインの原料とするために受け入れた国産生ぶどうの品種別数量の集計値であり、実際にワイン原料に使用した数量とは符合しない。

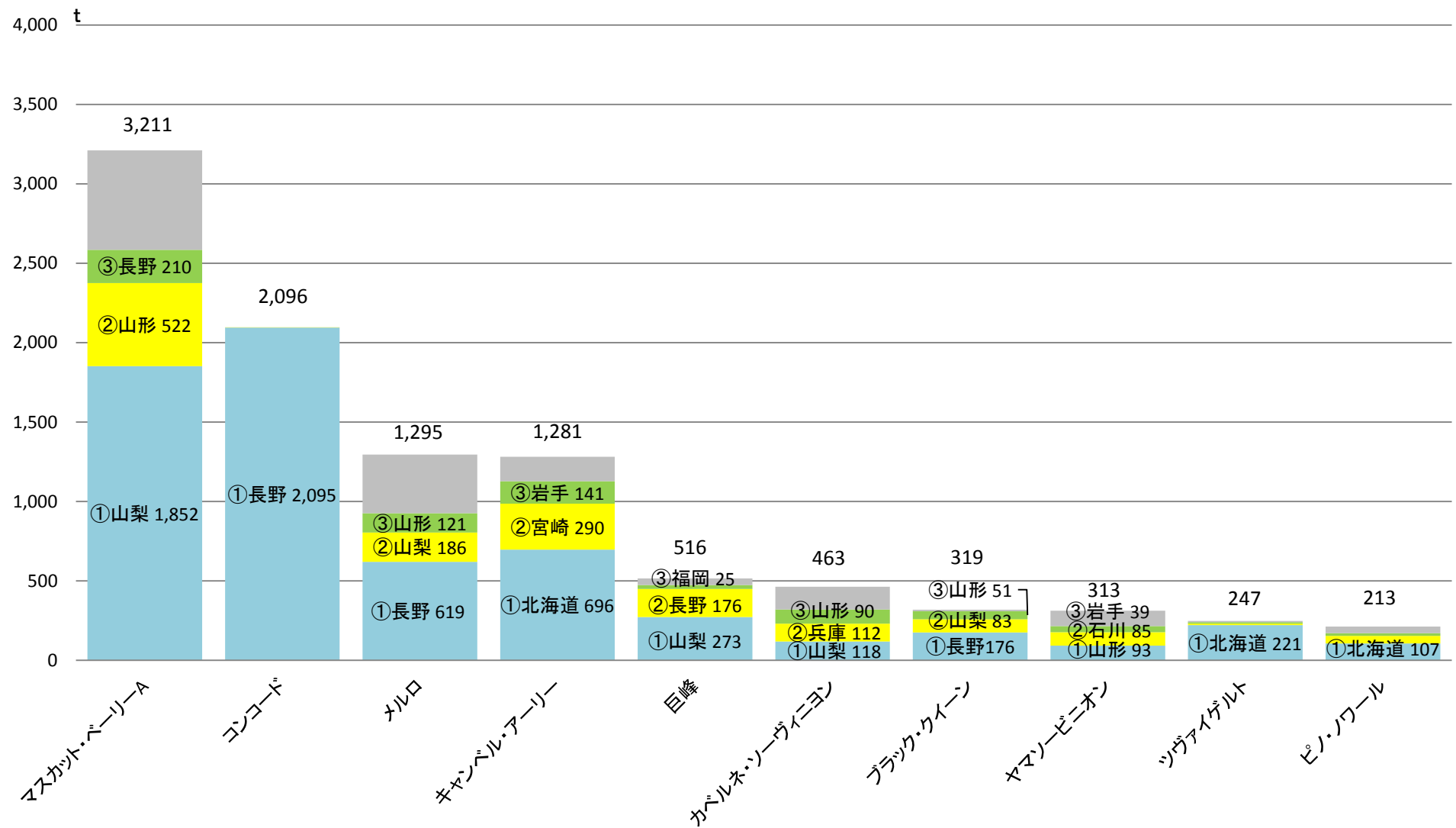
※ 国産生ぶどうのワイン原料使用量 22,033t

○ 原料用ぶどう品種(白上位10種)の主要産地(ぶどう産地別受入数量)



※ 表の見方
 例) 「甲州」の「①山梨 3,796 t」
 全国のワイナリーが受け入れたぶどう品種
 「甲州」のうち、山梨県内から受け入れた数
 量を表している。
 なお、①は順位を表している。

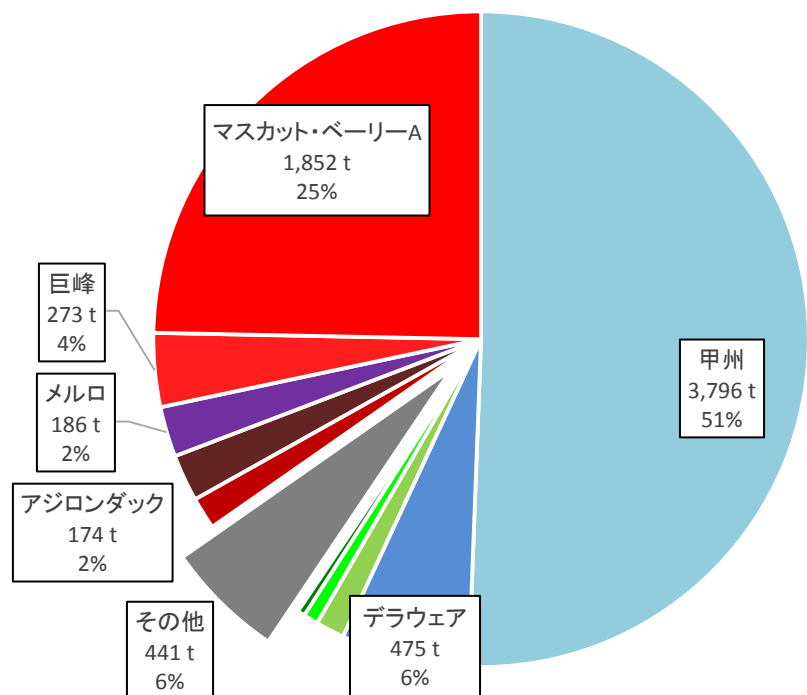
○ 原料用ぶどう品種(赤上位10種)の主要産地(ぶどう産地別受入数量)



○ 主要ぶどう産地(上位6道県)における品種別数量 ①

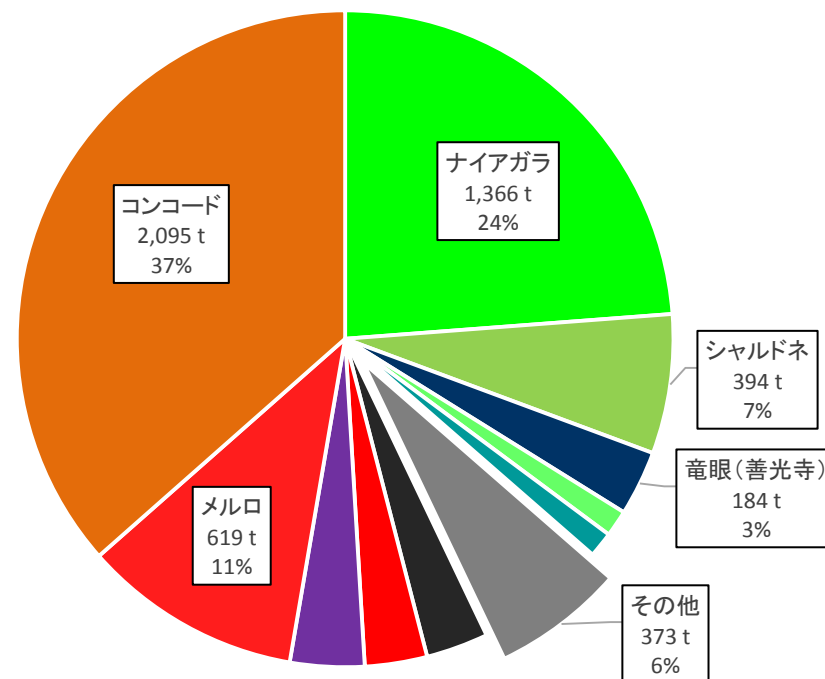
山梨(合計 7,503t)

赤ワイン用品種	数量(t)	割合	白ワイン用品種	数量(t)	割合
マスカット・ベリーA	1,852.4	24.7%	甲州	3,796.4	50.6%
巨峰	273.0	3.6%	デラウェア	474.7	6.3%
メルロ	185.9	2.5%	シャルドネ	105.9	1.4%
アジロンダック	173.5	2.3%	ナイアガラ	54.7	0.7%
カベルネ・ソーヴィニオン	118.5	1.6%	ソーヴィニオン・ブラン	27.3	0.4%
合計	2,603.3	34.7%	合計	4,459.0	59.4%



長野(合計 5,740t)

赤ワイン用品種	数量(t)	割合	白ワイン用品種	数量(t)	割合
コンコード	2,095.3	36.5%	ナイアガラ	1,365.9	23.8%
メルロ	619.4	10.8%	シャルドネ	393.9	6.9%
マスカット・ベリーA	210.1	3.7%	竜眼(善光寺)	183.8	3.2%
ブラック・クイーン	176.0	3.1%	ソーヴィニオン・ブラン	74.9	1.3%
巨峰	175.9	3.1%	セイベル9110	71.7	1.2%
合計	3,276.7	57.1%	合計	2,090.2	36.4%

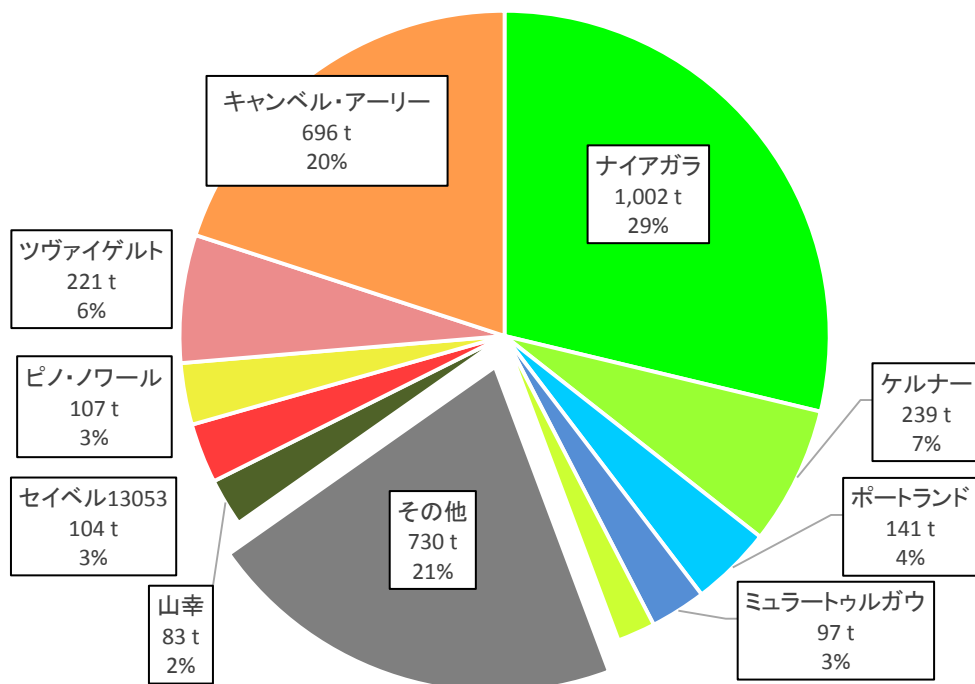


(注) 全国のワイナリーで受け入れられたぶどうのうち、ぶどう生産量上位6県から入荷したぶどうの品種内訳である。

○ 主要ぶどう産地(上位6道県)における品種別数量 ②

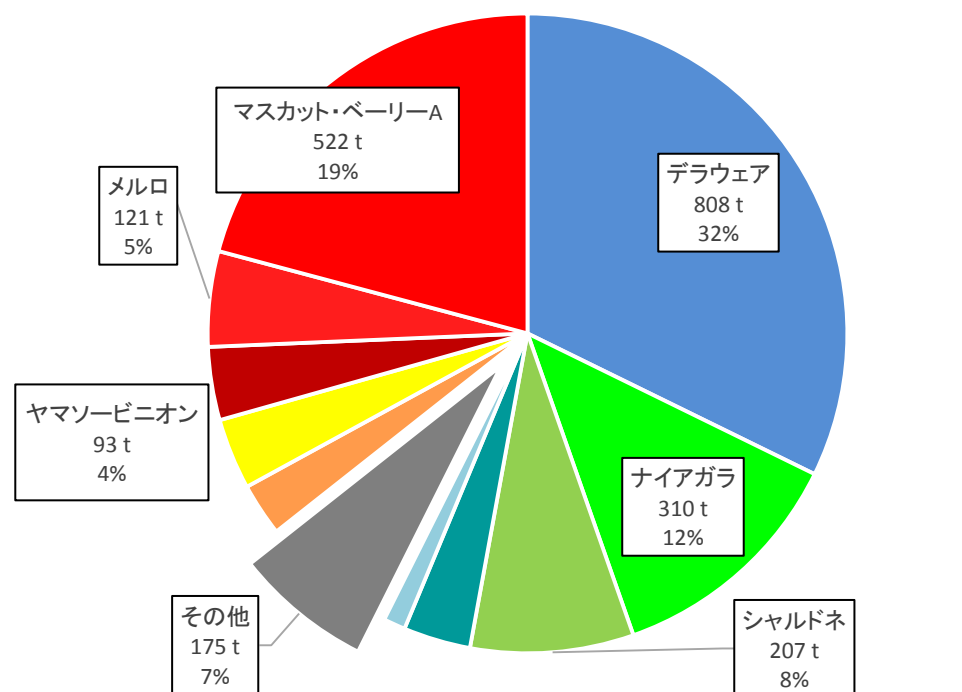
北海道(合計 3,485t)

赤ワイン用品種	数量(t)	割合	白ワイン用品種	数量(t)	割合
キャンベル・アーリー	696.3	20.0%	ナイアガラ	1,001.7	28.7%
ツヴァイゲルト	221.5	6.4%	ケルナー	238.9	6.9%
ピノ・ノワール	106.9	3.1%	ポートランド	140.6	4.0%
セイベル13053	103.6	3.0%	ミュラートウルガウ	96.8	2.8%
山幸	82.8	2.4%	デラウェア	65.8	1.9%
合計	1,211.1	34.8%	合計	1,543.8	44.3%



山形(合計 2,505t)

赤ワイン用品種	数量(t)	割合	白ワイン用品種	数量(t)	割合
マスカット・ベリーA	522.4	20.9%	デラウェア	807.9	32.3%
メルロ	120.7	4.8%	ナイアガラ	310.0	12.4%
ヤマソービニオン	92.6	3.7%	シャルドネ	206.8	8.3%
カベルネ・ソーヴィニオン	89.9	3.6%	セイベル9110	85.2	3.4%
キャンベル・アーリー	66.9	2.7%	甲州	27.7	1.1%
合計	892.5	35.6%	合計	1,437.6	57.4%

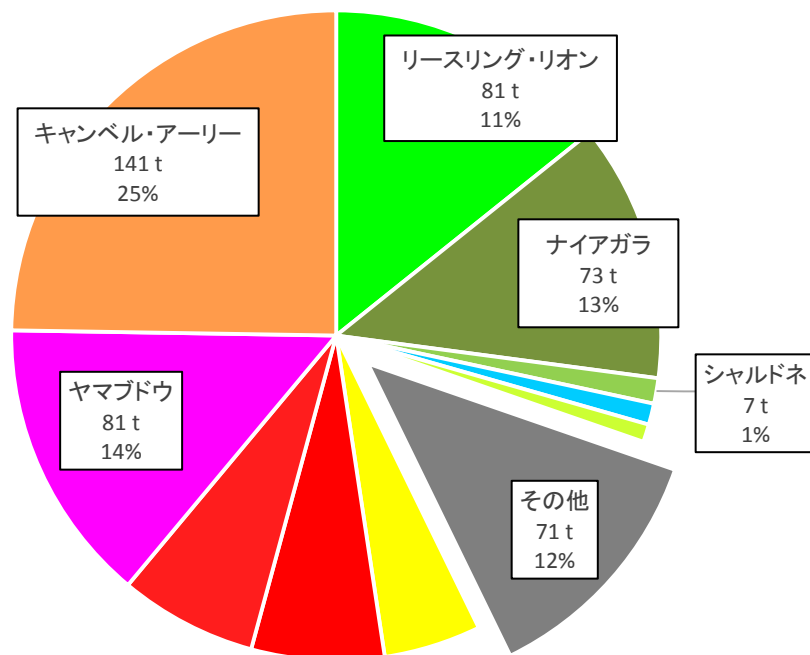


(注) 全国のワイナリーで受け入れられたぶどうのうち、ぶどう生産量上位6県から入荷したぶどうの品種内訳である。

○ 主要ぶどう産地(上位6道県)における品種別数量 ③

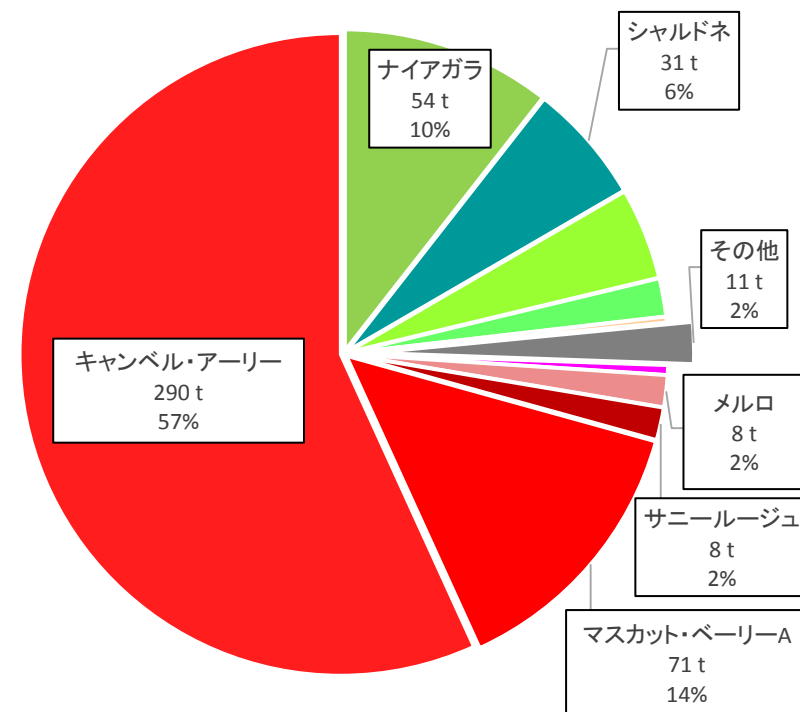
岩手(合計 569t)

赤ワイン用品種	数量(t)	割合	白ワイン用品種	数量(t)	割合
キャンベル・アーリー	140.8	24.7%	リースリング・リオン	81.1	14.3%
ヤマブドウ	80.7	14.2%	ナイアガラ	73.1	12.8%
ヤマソービニオン	39.0	6.9%	シャルドネ	7.2	1.3%
メルロ	37.6	6.6%	ミュラートウルガウ	6.0	1.1%
マスカット・ベリーA	27.5	4.8%	ポर्टランド	5.0	0.9%
合計	325.6	57.2%	合計	172.4	30.3%



宮崎(合計 511t)

赤ワイン用品種	数量(t)	割合	白ワイン用品種	数量(t)	割合
キャンベル・アーリー	290.3	56.9%	ナイアガラ	54.0	10.6%
マスカット・ベリーA	71.0	13.9%	シャルドネ	31.0	6.1%
サニールージュ	8.4	1.6%	デラウェア	23.6	4.6%
メルロ	8.2	1.6%	ブラック・オリンピア	9.8	1.9%
シラー	2.5	0.5%	甲州	1.5	0.3%
合計	380.4	74.6%	合計	119.9	23.5%



(注) 全国のワイナリーで受け入れられたぶどうのうち、ぶどう生産量上位6県から入荷したぶどうの品種内訳である。

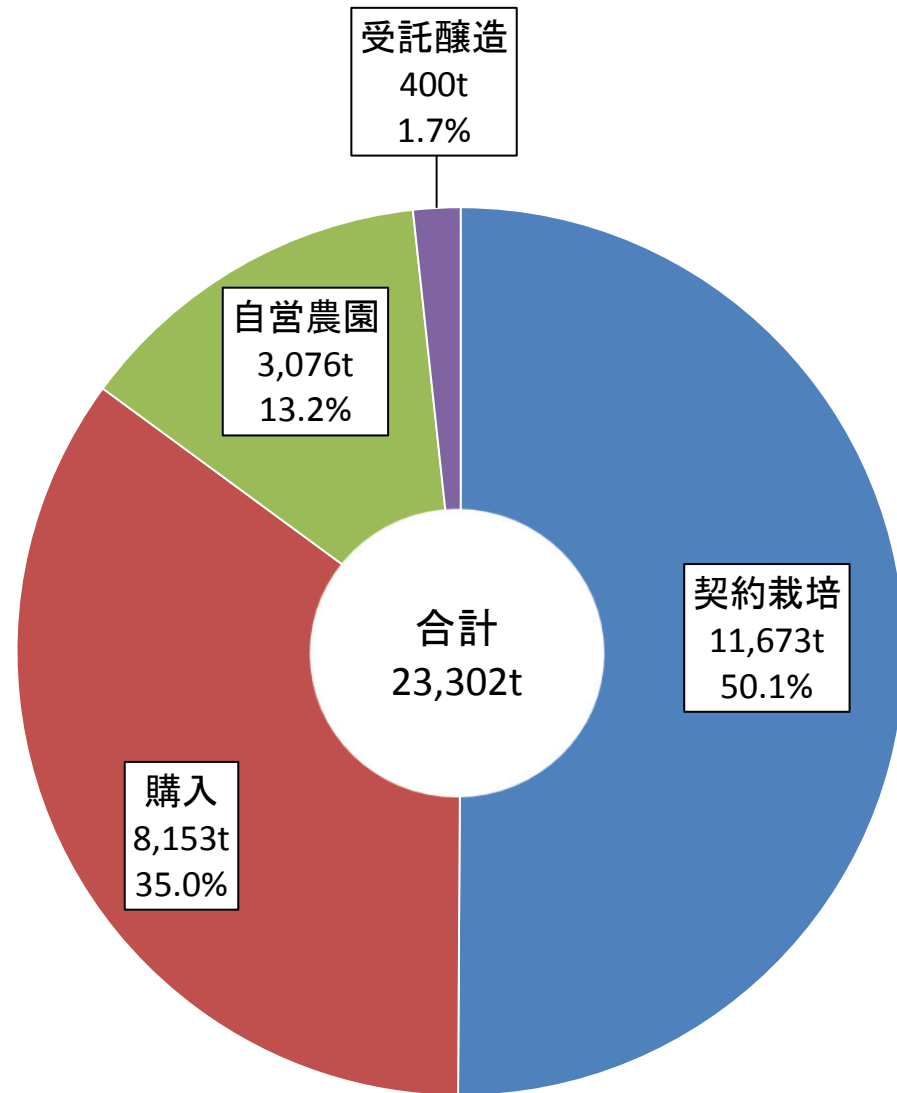
○ 都道府県別ワイン原料用国産生ぶどうの受入状況

(単位:t)

ぶどう産地	ワイン原料用ぶどう生産量 (受入元の産地別)	自県ワイナリーの受入数量 (ワイナリー所在地別)	他県ワイナリーの受入数量	受入先の都道府県									
				岡山	新潟	埼玉	京都	栃木	石川	新潟	山梨		
山梨	(100%) 7,503	(88.7%) 6,654	(11.3%) 850	岡山 168	新潟 108	埼玉 90	京都 ×	栃木 67					
長野	(100%) 5,740	(89.5%) 5,135	(10.5%) 606	山梨 498	栃木 38	京都 ×	新潟 15	石川 ×					
北海道	(100%) 3,485	(92.4%) 3,219	(7.6%) 266	岡山 124	長野 77	栃木 47	新潟 7	山梨 7					
山形	(100%) 2,505	(63.6%) 1,592	(36.4%) 912	山梨 264	北海道 208	岩手 87	滋賀 ×	栃木 60					
岩手	(100%) 569	(89.4%) 509	(10.6%) 60	北海道 21	大阪 16	滋賀 ×	岡山 6	栃木 3					
宮崎	(100%) 511	(77.2%) 394	(22.8%) 117	北海道 115	× 2	-	-	-					
全国計	(100%) 23,302	(85.6%) 19,940	(14.4%) 3,362										

(注) この表は、各ワイナリーから提出された「ワイン原料用国産生ぶどうの受入数量」を産地別に集計したものである。

○ ワイン原料用国産生ぶどうの受入形態別受入数量構成比



○ 生産規模別ぶどう受入形態別製造場数

(単位:場)

受入形態	生産規模				計
	~100kl	~300kl	~1,000kl	1,000kl~	
自営農園	64				64
契約栽培	41	11	4	6	62
受託醸造	10				10
購入	75	11	6	1	93
合計	190	22	10	7	229

- (注) 1 複数の形態で原料を受け入れている場合、各業者の受入数量が最も多い受入形態に1場として計上している。
 2 国産生ぶどうの受入れがない製造場が34場ある。

(参考1)

○ 果実酒の都道府県ランキング(上位10位)

順位	生産量			出荷量			販売(消費)数量	
		ワイン			ワイン			1人当たり
			日本ワイン			日本ワイン		
1	神奈川県	神奈川県	山梨県	神奈川県	神奈川県	山梨県	東京都	東京都
2	栃木県	栃木県	長野県	栃木県	栃木県	長野県	神奈川県	山梨県
3	山梨県	山梨県	北海道	山梨県	山梨県	北海道	大阪府	京都府
4	岡山県	長野県	山形県	岡山県	岡山県	山形県	埼玉県	神奈川県
5	長野県	岡山県	岩手県	長野県	長野県	岩手県	千葉県	大阪府
6	北海道	北海道	新潟県	大阪府	北海道	新潟県	北海道	北海道
7	青森県	山形県	岡山県	北海道	千葉県	岡山県	愛知県	長野県
8	山形県	愛知県	宮崎県	千葉県	静岡県	宮崎県	兵庫県	和歌山県
9	千葉県	岩手県	島根県	静岡県	山形県	京都府	福岡県	宮城県
10	静岡県	新潟県	兵庫県	山形県	大阪府	栃木県	京都府	千葉県

(注) 1 果実酒のうち、ぶどう(濃縮果汁を含む。)を原料とした果実酒を「ワイン」として表記している。

2 国税庁統計年報書(平成29年度速報値)による果実酒の製成数量(生産量)、課税移出数量(出荷量)及び販売(消費)数量の都道府県別順位である。ただし、「ワイン」及び「日本ワイン」については、果実酒製造業者実態調査(平成29年度調査分)による。

(参考2) 果実酒製造業者実態調査の都道府県別対象者(場)及び回答者(場)数

局名	都道府県別	製造免許場							製造免許者						
		果実酒製造免許場数				実態調査対象場数	回答場数	内日本ワイン	果実酒製造免許者数				実態調査対象者数	回答者数	
		場	内試験免許	内ぶどう原料無	内休造等				者	内試験免許	内ぶどう原料無	内休造等			
札幌	北海道	50	10	2	3	35	28	28	45	8	2	1	34	27	
仙台	青森	15	3	6	3	3	3	3	13	3	5	3	2	2	
	岩手	13	1	2	1	9	8	7	13	1	2	1	9	8	
	宮城	3	-	-	1	2	2	2	3	-	-	1	2	2	
	秋田	7	2	-	1	4	3	2	7	2	-	1	4	3	
	山形	18	1	-	3	14	13	13	18	1	-	3	14	13	
	福島	7	1	1	-	5	5	4	7	1	1	-	5	5	
	計	63	8	9	9	37	34	31	61	8	8	9	36	33	
関東信越	茨城	11	4	-	2	5	5	3	7	2	-	1	4	4	
	栃木	10	3	-	-	7	7	4	7	1	-	-	6	6	
	群馬	7	1	1	1	4	4	2	7	1	1	1	4	4	
	埼玉	7	1	-	3	3	3	3	7	1	-	3	3	3	
	新潟	18	5	1	2	10	8	8	17	5	1	1	10	8	
	長野	47	5	5	2	35	34	32	40	4	4	2	30	29	
	計	100	19	7	10	64	61	52	85	14	6	8	57	54	
東京	千葉	9	1	3	1	4	3	1	7	1	1	2	3	2	
	東京	15	10	-	1	4	3	3	37	18	4	4	11	11	
	神奈川	13	7	2	1	3	3	-	2	-	-	1	1	1	
	山梨	93	3	1	8	81	61	57	77	2	-	6	69	50	
	計	130	21	6	11	92	70	61	123	21	5	13	84	64	
金沢	富山	5	1	-	2	2	2	2	5	1	-	2	2	2	
	石川	6	3	1	-	2	2	2	6	3	1	-	2	2	
	福井	2	1	-	-	1	1	1	2	1	-	-	1	1	
	計	13	5	1	2	5	5	5	13	5	1	2	5	5	
名古屋	岐阜	14	6	1	3	4	4	1	10	3	1	3	4	3	
	静岡	12	3	3	1	5	4	2	9	1	3	1	4	3	
	愛知	15	3	2	5	5	5	3	15	3	1	4	7	7	
	三重	6	2	-	3	1	1	1	4	1	-	2	1	1	
		計	47	14	6	12	15	14	7	38	8	5	10	15	14
大阪	滋賀	4	2	-	-	2	2	2	4	2	-	-	2	2	
	京都	6	3	1	-	2	2	2	6	3	1	4	7	6	
	大阪	20	8	1	4	7	6	5	16	7	1	2	6	5	
	兵庫	10	2	4	-	4	3	2	9	2	3	-	4	3	
	奈良	3	2	1	-	-	-	-	2	1	1	-	-	-	
	和歌山	7	1	5	-	1	1	1	7	1	5	-	1	1	
		計	50	18	12	4	16	14	12	43	14	11	3	15	13
	広島	鳥取	6	3	-	-	3	3	2	5	2	-	-	3	3
		島根	8	3	1	1	3	3	3	7	2	1	1	3	3
		岡山	14	5	-	2	7	7	7	13	5	-	2	6	6
広島		15	6	2	1	6	6	5	14	5	2	1	6	6	
山口		3	2	-	-	1	1	1	3	2	-	-	1	1	
	計	46	19	3	4	20	20	18	42	16	3	4	19	19	
高松	徳島	3	1	1	-	1	1	-	3	1	1	-	1	1	
	香川	2	1	-	-	1	1	1	2	1	-	-	1	1	
	愛媛	4	3	-	-	1	1	1	4	3	-	-	1	1	
	高知	3	1	-	1	1	1	-	3	1	-	1	1	1	
	計	12	6	1	1	4	4	2	12	6	1	1	4	4	
福岡	福岡	10	6	3	-	1	1	1	9	5	2	-	2	2	
	佐賀	2	2	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	
	長崎	3	2	-	-	1	1	1	3	2	-	-	1	1	
	計	15	10	3	-	2	2	2	14	9	2	-	3	3	
熊本	熊本	7	3	-	2	2	2	1	6	3	-	1	2	2	
	大分	8	1	-	2	5	4	4	7	1	-	1	5	4	
	宮崎	9	3	-	2	4	3	3	9	3	-	2	4	3	
	鹿児島	2	-	-	1	1	1	-	2	-	-	1	1	1	
	計	26	7	-	7	12	10	8	24	7	-	5	12	10	
沖縄	沖縄	7	4	-	2	1	1	-	6	3	-	2	1	1	
	全国計	559	141	50	65	303	263	226	506	119	44	58	285	247	

(注) 1 製造免許場数及び製造免許者数(内書の試験免許を含む。)は、国税庁統計年報書(平成29年速報値)による。

ただし、他の酒類において試験製造免許以外の免許を有している製造者が、果実酒製造免許は試験製造免許のみを有している場合は、試験製造免許として集計している。

2 調査対象者は、果実酒製造業者のうち、①試験製造免許者、②ぶどうを原料とした果実酒を製造していない者、③果実酒の製成及び課税移出又は売上高がない者を除いた者である。

3 回答場数及び回答者数は、果実酒製造業者実態調査(平成29年度調査分)に回答があった者の数である。

4 「内 日本ワイン」の項目は、回答のあったうち、日本ワインの製成数量がある場(者)の数を示している。

(参考3)ワインの都道府県別生産量・出荷量

局名	都道府県別	対象場数 (回答場数)	生産量		出荷量	
			内 日本ワイン	内 日本ワイン	内 日本ワイン	内 日本ワイン
札幌	北海道	35 (28)	2,936	2,933	2,632	2,144
仙台	青森	3 (3)	68	65	90	51
	岩手	9 (8)	558	542	613	599
	宮城	2 (2)	×	×	×	×
	秋田	4 (3)	10	6	10	5
	山形	14 (13)	1,251	1,195	1,269	1,070
	福島	5 (5)	28	24	24	13
	計	37 (34)	×	×	×	×
関東信越	茨城	5 (5)	19	19	15	15
	栃木	7 (7)	23,359	207	32,426	226
	群馬	4 (4)	12	11	117	20
	埼玉	3 (3)	101	99	233	181
	新潟	10 (8)	391	391	418	415
	長野	35 (34)	4,784	4,072	4,426	3,416
	計	64 (61)	28,668	4,800	37,635	4,273
東京	千葉	4 (3)	1	1	2,435	12
	東京	4 (3)	37	30	34	29
	神奈川	3 (3)	31,131	-	55,665	42
	山梨	81 (61)	14,950	5,530	25,346	4,635
	計	92 (70)	46,119	5,562	83,479	4,718
金沢	富山	2 (2)	×	×	×	×
	石川	2 (2)	×	×	×	×
	福井	1 (1)	×	×	×	×
	計	5 (5)	139	139	164	164
名古屋	岐阜	4 (4)	1	1	42	3
	静岡	5 (4)	79	65	1,403	61
	愛知	5 (5)	623	17	624	13
	三重	1 (1)	×	×	×	×
	計	15 (14)	×	×	×	×
局名	都道府県別	対象場数 (回答場数)	生産量	内 日本ワイン	出荷量	内 日本ワイン
大阪	滋賀	2 (2)	×	×	×	×
	京都	2 (2)	×	×	×	×
	大阪	7 (6)	186	186	927	220
	兵庫	4 (3)	275	262	168	159
	奈良	- (-)	-	-	-	-
	和歌山	1 (1)	×	×	×	×
	計	16 (14)	847	745	1,534	691
広島	鳥取	3 (3)	36	36	37	34
	島根	3 (3)	266	266	199	199
	岡山	7 (7)	4,707	380	8,183	289
	広島	6 (6)	193	128	209	125
	山口	1 (1)	×	×	×	×
	計	20 (20)	×	×	×	×
高松	徳島	1 (1)	×	×	×	×
	香川	1 (1)	×	×	×	×
	愛媛	1 (1)	×	×	×	×
	計	4 (4)	44	38	28	28
福岡	福岡	1 (1)	×	×	×	×
	佐賀	- (-)	-	-	-	-
	長崎	1 (1)	×	×	×	×
	計	2 (2)	×	×	×	×
熊本	熊本	2 (2)	×	×	×	×
	大分	5 (4)	125	121	72	67
	宮崎	4 (3)	353	353	274	274
	鹿児島	1 (1)	×	×	×	×
	計	12 (10)	650	631	468	447
沖縄	沖縄	1 (1)	×	×	×	×
全国計		303 (263)	87,325	17,663	138,730	14,988

(注) 1 果実酒製造業者実態調査(平成29年度調査分)に回答のあった製造場のぶどう(濃縮果汁を含む。)を原料とした果実酒の製成数量(生産量)及び課税移出数量(出荷量)である。

2 「×」は、情報を保護する観点から数値を秘匿したものである。

(参考4)都道府県別のぶどう品種別受入数量の明細

局名	都道府県別	対象場数 (回答場数)	甲州	マスカット・ ベリーA	ナイアガラ	コンコード	デラウェア	メルロ	シャルドネ	キャンベル・ アーリー	巨峰	カベルネ・ ソーヴィニ ヨン
札幌	北海道	35 (28)	-	16	963	-	257	36	46	828	-	3
仙台	青森	3 (3)	-	-	6	-	-	3	0	-	-	-
	岩手	9 (8)	-	51	103	-	27	38	9	158	-	4
	宮城	2 (2)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	秋田	4 (3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	山形	14 (13)	25	461	140	-	440	62	161	12	-	27
	福島	5 (5)	2	16	0	-	2	1	1	1	0	0
	計	37 (34)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
関東信越	茨城	5 (5)	-	0	-	-	2	0	0	-	7	-
	栃木	7 (7)	51	25	7	-	3	23	25	3	2	26
	群馬	4 (4)	-	5	-	-	-	1	3	-	2	-
	埼玉	3 (3)	46	50	-	-	-	8	2	-	5	1
	新潟	10 (8)	29	133	-	-	34	84	61	2	0	25
	長野	35 (34)	12	208	1,320	2,033	9	472	279	8	145	68
	計	64 (61)	138	421	1,326	2,033	47	588	370	13	160	120
東京	千葉	4 (3)	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-
	東京	4 (3)	6	6	3	1	6	2	4	1	-	-
	神奈川	3 (3)	2	-	-	-	2	-	-	-	3	-
	山梨	81 (61)	3,519	1,527	209	61	392	335	278	26	290	163
計	92 (70)	3,526	1,534	212	63	400	336	282	28	292	163	
金沢	富山	2 (2)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	石川	2 (2)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	福井	1 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
計	5 (5)	10	49	14	-	2	20	33	1	-	2	
名古屋	岐阜	4 (4)	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
	静岡	5 (4)	17	6	-	-	3	7	13	-	-	3
	愛知	5 (5)	-	4	-	-	4	2	2	-	1	1
	三重	1 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	計	15 (14)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

局名	都道府県別	対象場数 (回答場数)	甲州	マスカット・ ベリーA	ナイアガラ	コンコード	デラウェア	メルロー	シャルドネ	キャンベル・ アーリー	巨峰	カベルネ・ ソーヴィニ ヨン
大阪	滋賀	2 (2)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	京都	2 (2)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	大阪	7 (6)	10	60	13	-	112	21	13	7	-	4
	兵庫	4 (3)	-	-	-	-	-	98	172	-	-	112
	奈良	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	和歌山	1 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	計	16 (14)	25	133	37	-	237	138	194	7	9	121
広島	鳥取	3 (3)	18	33	-	-	-	0	2	-	-	2
	島根	3 (3)	128	76	-	-	-	15	20	3	-	6
	岡山	7 (7)	82	111	-	-	13	6	19	4	6	1
	広島	6 (6)	2	86	-	-	10	14	25	1	-	-
	山口	1 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
計	20 (20)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
高松	徳島	1 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	香川	1 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	愛媛	1 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	高知	1 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
計	4 (4)	6	18	1	-	9	-	-	-	2	-	
福岡	福岡	1 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	佐賀	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	長崎	1 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
計	2 (2)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
熊本	熊本	2 (2)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	大分	5 (4)	1	41	17	-	21	18	45	4	0	-
	宮崎	4 (3)	2	92	72	-	54	11	32	195	-	4
	鹿児島	1 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
計	12 (10)	2	167	108	-	102	29	142	222	16	10	
沖縄	沖縄	1 (1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
全国計		303 (263)	3,991	3,211	2,923	2,096	1,566	1,295	1,322	1,281	516	463

(注)1 果実酒製造業者実態調査(平成29年度調査分)に回答のあった製造場が受け入れた各ぶどう品種の数量である。

2 「×」は、情報を保護する観点から数値を秘匿したものである。

(参考5)ぶどう産地別 製造場所在地別 原料ぶどう受入量 (国税局管轄区域別)

単位:t

ぶどう産地 製造場所在地	札幌	仙台		関東信越	東京	金沢	名古屋	大阪	広島	高松	福岡	熊本	沖縄	ワイン原料 ぶどう使用量
		内 岩手	内 山形	内 長野	内 山梨							内 宮崎		
札幌	3,219	229		-	34	71	-	-	2	13	-	115	-	3,682
		21	208	-	34							115		
仙台	-	2,417		3	36	-	1	-	-	-	-	-	-	2,457
内 岩手	-	509	87	-	13	-	1	-	-	-	-	-	-	685
内 山形	-	-	1,592	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,606
関東信越	132	122		5,620	279	20	3	2	-	-	-	-	-	6,177
内 長野	77	-	10	5,135	7	1	3	2	-	-	-	-	-	5,235
東京	9	387		517	6,677	-	2	4	4	4	-	-	-	7,604
内 山梨	7	-	264	498	6,654	-	2	4	2	4	-	-	-	7,556
金沢	2	-		10	18	166	2	-	-	-	-	-	-	198
		-	-	10	18									
名古屋	-	3		-	25	-	80	-	-	-	-	-	-	109
		-	3		25									
大阪	-	162		31	132	4	12	680	12	11	-	-	-	1,043
		25	137	31	132									
広島	124	27		8	194	-	-	5	704	2	1	-	-	1,065
		6	9	8	194									
高松	-	-		-	-	-	-	-	-	58	-	-	-	58
		-	-	-	-									
福岡	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		×	×	×	×							×		
熊本	-	90		-	101	-	-	-	-	-	3	666	-	859
内 宮崎	-	-	20	-	60	-	-	-	-	-	-	394	-	496
沖縄	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		×	×	×	×							×		
ぶどう生産量	3,485	3,438		6,190	7,512	260	100	690	722	87	35	783	-	23,302
		569	2,505	5,740	7,503							511		

(注)1 各都道府県で生産されたぶどうの各都道府県での使用量を国税局管轄区域別に集計したものである(果実酒製造業者実態調査(平成29年度調査分)による。)

2 内書の合計欄は、当該県で生産されたぶどうの量又は当該県でワイン原料として使用されたぶどうの量であり、縦・横の合計値とは一致しない。

3 「×」は、情報を保護する観点から数値を秘匿したものである。

(参考6)ぶどう品種別受入形態の明細及び主要産地

品種名		受入形態										合計	主要産地	
		自営農園			契約栽培			購入	受託醸造				都道府県	数量
		計	棚	垣根	計	棚	垣根		計	棚	垣根			
白 ワ イ ン 用 品 種	甲州	228	216	12	1,823	1,823	1	1,846	94	92	1	3,991	山 梨	3,796
	竜眼(善光寺)	6	6	-	122	122	-	56	-	-	-	184	長 野	184
	ナイアガラ	95	93	2	1,968	1,957	11	852	9	6	3	2,923	長 野	1,366
	デラウェア	80	80	0	307	299	8	1,157	22	22	-	1,566	山 形	808
	シャルドネ	392	77	315	762	311	451	147	21	5	17	1,322	長 野	394
	ケルナー	47	8	39	220	19	200	20	1	0	1	287	北 海 道	239
	ミュラートウルガウ	22	-	22	78	2	76	4	0	-	0	103	北 海 道	97
	バッカス	6	-	6	43	-	43	5	2	-	2	55	北 海 道	55
	リースリング・リオン	7	1	7	78	23	55	0	-	-	-	85	岩 手	81
	ソーヴィニオン・ブラン	71	10	61	43	21	22	39	10	2	9	163	長 野	75
	ピノ・ブラン(ヴァイスブルグンダー)	21	1	20	16	15	2	-	1	-	1	38	山 形	14
	ピノ・グリ(ピノ・グリージョ)	25	2	23	0	-	0	-	5	-	5	31	北 海 道	24
ポートランド	0	0	0	114	114	-	33	-	-	-	147	北 海 道	141	
セイベル9110	6	4	2	157	139	19	29	0	-	0	193	山 形	85	
セイベル5279	-	-	-	35	-	35	-	-	-	-	35	北 海 道	35	
赤 ワ イ ン 用 品 種	マスカット・ベリーA	218	190	28	1,290	1,271	19	1,663	40	40	-	3,211	山 梨	1,852
	巨峰	13	13	-	35	35	-	460	8	8	-	516	山 梨	273
	コンコード	239	238	1	1,567	1,555	12	289	1	1	-	2,096	長 野	2,095
	キャンベル・アーリー	39	33	6	591	591	-	645	7	7	-	1,281	北 海 道	696
	メルロ	390	102	288	685	424	261	202	18	6	12	1,295	長 野	619
	カベルネ・ソーヴィニオン	146	16	130	274	101	174	39	4	-	4	463	山 梨	118
	ツヴァイゲルト	41	3	39	194	4	191	1	11	-	11	247	北 海 道	221
	ヤマソービニオン	47	12	36	110	18	92	149	6	5	1	313	山 形	93
	ヤマブドウ	23	13	10	62	19	43	34	24	9	15	143	岩 手	81
	セイベル13053(清見)	31	-	31	71	-	71	27	4	-	4	131	北 海 道	104
	山幸	44	-	44	35	-	35	-	4	-	4	83	北 海 道	83
	ブラック・クイーン	72	71	1	191	191	0	56	0	0	-	319	長 野	176
	カベルネ・フラン	41	17	24	20	16	4	1	1	1	-	63	長 野	25
	ピノ・ノワール	114	16	98	49	10	38	16	34	-	34	213	北 海 道	107
	プティ・ヴェルド	34	13	21	3	3	0	1	-	-	-	38	山 梨	25
	シラー	52	12	39	12	7	5	3	0	-	0	66	山 梨	30
アジロンダック	5	5	-	101	98	3	65	8	8	-	179	山 梨	174	
甲斐ノワール	4	4	0	30	30	-	2	4	2	2	41	山 梨	37	

(注) 果実酒製造業者実態調査(平成29年度調査分)で把握した全国のワイナリーが受け入れたぶどうの品種別数量である。

(参考7)ワイン製造業者の製成数量規模別経営状況及び製成移出状況

(平成30年1月1日直前終了事業年度分)

項目	製成数量規模				
	合計	100kl未満	300kl未満	1,000kl未満	1,000kl以上
企業数	者 247	者 206	者 22	者 12	者 7
欠損及び低収益企業数	80	77	3	-	-
割合	32.4%	37.4%	13.6%	-	-
低収益企業数	16	15	1	-	-
割合	6.5%	7.3%	-	-	-
欠損企業数	64	62	2	-	-
割合	25.9%	30.1%	9.1%	-	-
売上高	百万円 1,555,951	百万円 150,454	百万円 58,273	百万円 44,815	百万円 1,302,409
ワイン製造業	92,860	8,161	6,425	15,969	62,304
日本ワイン	21,098	6,284	5,409	3,830	5,575
売上原価	1,037,668	102,697	35,442	31,545	867,984
ワイン製造業	60,093	4,474	3,469	10,863	41,288
原料費	5,457	1,525	1,186	1,274	1,472
売上総利益	518,283	47,757	22,831	13,270	434,425
ワイン製造業	32,767	3,687	2,957	5,107	21,016
販売費・一般管理費	394,257	44,226	16,193	11,203	322,635
ワイン製造業	25,349	3,423	2,651	4,489	14,786
営業利益	124,025	3,531	6,637	2,067	111,790
ワイン製造業	7,417	264	305	618	6,230
税引前利益	126,676	3,544	6,974	3,101	113,057
売上高売上原価率	66.7%	68.3%	60.8%	70.4%	66.6%
ワイン製造業	64.7%	54.8%	54.0%	68.0%	66.3%
原料費率	5.9%	18.7%	18.5%	8.0%	2.4%
売上高売上総利益率	33.3%	31.7%	39.2%	29.6%	33.4%
ワイン製造業	35.3%	45.2%	46.0%	32.0%	33.7%
売上高販売費・一般管理費率	25.3%	29.4%	27.8%	25.0%	24.8%
ワイン製造業	27.3%	41.9%	41.3%	28.1%	23.7%
売上高営業利益率	8.0%	2.3%	11.4%	4.6%	8.6%
ワイン製造業	8.0%	3.2%	4.8%	3.9%	10.0%
売上高税引前利益率	8.1%	2.4%	12.0%	6.9%	8.7%

(平成29年度分)

項目	製成数量規模				
	合計	100kl未満	300kl未満	1,000kl未満	1,000kl以上
企業数	者 247	者 206	者 22	者 12	者 7
使用原料	t 87,211	t 5,392	t 5,411	t 7,831	t 68,576
国産原料	22,104	5,260	4,828	5,013	7,003
生ぶどう	22,033	5,258	4,817	5,004	6,955
その他	71	3	11	9	48
輸入原料	65,107	132	583	2,818	61,574
濃縮果汁	65,016	122	516	2,809	61,569
その他	90	9	67	9	5
製成数量	kl 87,325	kl 4,063	kl 3,987	kl 7,187	kl 72,088
日本ワイン	17,663	3,878	3,694	4,034	6,057
輸入数量	41,204	1,813	422	8,936	30,034
未納税	18,036	844	422	2,875	13,895
課税	23,168	968	-	6,061	16,139
販売数量	142,484	7,292	4,417	16,438	114,336
課税	138,730	7,097	4,173	15,161	112,300
日本ワイン	14,988	3,767	3,195	3,523	4,503
未納税	3,688	188	213	1,269	2,017
輸出	65	7	31	8	19

- (注) 1 果実酒製造業者実態調査(平成29年度調査分)による。
 2 低収益企業とは、税引前純利益が0から50万円未満の企業をいう。
 3 「ワイン製造業」の欄は、ぶどう(濃縮果汁を含む。)を原料とした果実酒(以下「ワイン」という。)に係る売上高等の金額である。
 4 濃縮果汁の重量は、糖度20度に換算した重量(推計)である。
 5 製成数量、輸入数量及び販売数量は、ワインの数量である。
 6 輸入数量のうち未納税については、酒類の原料及び自己の製造した酒類と混和してさらに移出するために輸入したワインの数量であり、課税の輸入数量については、そのまま販売容器に充填して移出するために輸入したワインの数量である。
 7 販売数量のうち輸出については、法人については平成30年1月1日直前終了事業年度分、個人については平成29年分を基に集計した数量である。